

## 競技注意事項

- 1 競技規則について
 

本大会は、2017年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。
- 2 練習場および練習について
  - ①練習は「練習会場に関する注意事項」を確認の上、危険防止に十分注意し、競技役員の指示に従うこと。
  - ②ヤンマーフィールド長居【サブ】は、投てき種目が始まると練習場所を制限する。詳細は「練習に関する注意事項」を参照。
  - ③投てき種目の練習は、危険をとまなうので、各種目とも競技開始前に競技役員の指示に従うこと。
- 3 招集について
  - (1) 招集所は、ヤンマースタジアム長居【メイン】マラソンゲート（第1曲走路中央付近）に設ける。  
ヤンマーフィールド長居【サブ】で行われる競技についても同場所とする。
  - (2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。
  - (3) 招集方法については、次の通りである。
    - ①競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼、持ち物の確認（競技規則第143条、第144条）商標等の点検を受け、競技役員の誘導により競技場に入る。競技場内に持ち込めない物は、競技者係で預かり、T I Cにて返却する。
    - ②トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を1枚競技者係から受け取る。
    - ③2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「2種目同時出場届」に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出する。
    - ④リレーに出場するチームは、所定のリレーオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに、招集所の競技者係に提出する。
    - ⑤代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
    - ⑥男女の棒高跳はヤンマースタジアム長居【メイン】の競技実施場所で招集を行う。  
(バックストレート側ピット)
- 4 ナンバーカードについて
  - (1) ナンバーカードは、配布された大きさのままでユニフォームの胸部・背部につける。  
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
  - (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識1枚（招集所で配布）を右腰につける。  
腰ナンバー標識は、レース終了後にフィニッシュ付近にて回収する。
  - (3) 5000m、10000m、10000m 競歩は周回のトランスポンダー付き腰ナンバー標識は招集所で配布し、左腰につける。トランスポンダー付き腰ナンバー標識は、レース終了後にフィニッシュ付近にて回収する。  
また、事前配布したナンバーカードの上から貼れるシールのナンバーカードを競技者係にて配布する。必ず、事前配布したナンバーカードを付けて競技者係にて招集を行うこと。
- 5 競技について
  - (1) トラック競技は全て写真判定装置を使用する。  
投てき競技（砲丸投を除く）および棒高跳は光波距離計測装置を使用する。
  - (2) 短距離種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。
  - (3) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順で行う。
  - (4) 準決勝・決勝の組み合わせおよびレーン順は、主催者が公正に決定しその結果を掲示する。
  - (5) トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で100分の1秒単位で同記録があった場合、1000分の1秒で着差判定をして進出者を決める。着差

がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。

- (6) 欠場する競技者は「欠場届」に所定の事項を記入のうえ、招集開始時刻までに競技者係に届け出ること。
- (7) 男子200mは、決勝進出者以外の上位8名によりB決勝を行う。ただし、表彰並びに対抗戦得点の対象とはしない。
- (8) 競歩競技について
- ① 男女10000m競歩は、混合レースにて競技規則第230条4(a)を適用し、競技を実施する。
  - ② 残り100mからフィッシュまでの間で競技者の歩型が第230条2に明らかに反する時、競歩審判員主任はその競技者にそれまでに出示されたレッドカードの有無に拘わらずその競技者を主任単独で失格にする権限をもつ。
  - ③ 男女共に、58分を過ぎて新たな周回には入れない。
- (9) 三段跳の踏切板は、男子13m・女子10mの地点とする。
- (10) 4×100mRの2～4走者のマークは主催者が用意したものを使用すること。また、競技終了後の回収は各チームで責任をもって行うこと。
- (11) フィールド競技の公式練習は原則2回とし、全て競技役員の指示に従う。競技開始までに時間がある場合は3回目以後の練習もありうる。ただし、投てき公式練習は1回とし、サークルを使用する投てき競技は1回につき1分以内とする。
- (12) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
- ① 荒天、その他特別な状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。
  - ② 公式練習は任意の高さおよびアップライトの位置（現地で担当競技役員に申告する）で試技順に2回行う。ゴムバーの高さを正規の高さに設定して行う。

種目	練習	バーの上げ方	
男子走高跳	1m90	1m95～2m15 まで	以後 3cm 刻み
	2m00	5cm 刻み	
女子走高跳	1m50	1m55～1m70 まで	以後 3cm 刻み
	1m70	5cm 刻み	
男子棒高跳	任意の高さ	4m60～5m30 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み
女子棒高跳	任意の高さ	3m30～3m90 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み

- (13) 男子の跳躍種目（棒高跳を除く）、女子走幅跳、女子三段跳は2ピットで行う。
- ① 走幅跳、三段跳について、トップ8確定後の4回目以降の試技は、ピットの変更は行わない。
  - ② 走高跳は以下にて運営する。
    - i バーの上げ方は2ピット同時に行う。
    - ii バーを上げる時、残っている人数を確認して、試技時間を設定する。  
2ピット合わせて、4人以上=1分、2～3人=1分30秒、1人=3分、連続試技=2分。
    - iii 残りの人数が8人以下になるまではそれぞれのピットで競技を行うが、8人以下の場合は、Aピットの競技者→Bピットの競技者という順番で試技を行う。
- (14) 男子投てき競技は、予選ラウンドをヤンマーフィールド長居で実施する。予選通過記録は以下のとおりとする。決勝はヤンマースタジアム長居にて、少なくとも12人で行う。

種目	男子
砲丸投	1 6 m 1 0
円盤投	5 2 m 5 0

ハンマー投	6 2 m 5 0
やり投	7 2 m 5 0

6 コーチングエリアの設置について

- (1) フィールド競技については、コーチングエリアを設置する。
- (2) 競技中の選手に対するアドバイスは、コーチングエリア内で行うこと。

7 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場は、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技に出場する選手は、ヤンマースタジアム長居マラソングート（第1曲走路中央付近）に設置する招集所から競技場内に入場する。
- (3) ヤンマースタジアム長居【メイン】での競技が終了した選手は、ヤンマースタジアム長居【メイン】第1ゲート（フィッシュ付近）に設置するミックスゾーンを通過して退場する。
- (4) 表彰対象者およびドーピング検査対象者については、競技役員の指示に従う。
- (5) ヤンマースタジアム長居【メイン】バックスタンド下室内練習場を使用する場合は、IDを着用の上、第2ゲート（1500mスタート付近）から入退場する。

8 競技用靴・用器具について

- (1) 競技用靴のスパイクは11本以内で、長さ9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm以下とする。また、スパイクの先端近くで少なくとも長さの半分以上は4mm四方の定規に適合しなければならない
- (2) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用器具は、各人所有のものを検査の上使用することができる。投てき用器具の検査受付は、各競技種目の競技開始時刻90分前までにTICに持参すること。出場する選手もしくは代理人が「投てき用器具検査申請書」と共に直接持参すること。検査後の用器具は、主催者預りとし、その用器具は全競技者が使用できるものとする。返却は競技場所で預かり書と引換に行う。棒高跳用ポールについては、棒高跳ピットにて担当競技役員が検査を行う。
- (3) フィールド競技で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。

9 抗議・上訴について

- (1) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板で正式発表されてから、競技規則第146条2及び第146条2[国内]に定められた時間内にその競技者または代理人がTICに申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (2) さらに、審判長の裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。(競技規則第146条7)

10 ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストはJADAおよびJAAFの規則に従い実施するので、係員より指名された競技者はテストを受検すること。

- (1) 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
- (2) TUE申請  
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ (<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

(3) 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年（20歳未満）競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。

①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。

同意書は、下記のURLよりダウンロードすること。

<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>

②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR（大会医事代表）に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

11 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行う。
- (2) 1位から3位の入賞者は競技終了後直ちに役員員の指示に従い表彰者控場所に集合すること。
- (3) 各種目の優勝者には選手権章、3位までの入賞者には賞状および副賞を授与する。
- (4) 団体総合6位までの団体および優秀選手の表彰は閉会式で行う。総合得点が同点の場合、優勝種目の数により決定する。なお、優勝種目が同数の場合、2位の数により決定する。以下これに準ずる。

12 その他

- (1) IDコントロールを実施するので、配布したIDカードは常に携帯する。
  - (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
  - (3) 更衣室は、ヤンマースタジアム長居【メイン】、ヤンマーフィールド長居【サブ】メインスタンド1階に設ける。
  - (4) 記録はその都度発表すると共に、ヤンマースタジアム長居【メイン】メインスタンド第1ゲート外側に記録ボードを設け掲示する。
  - (5) 応援旗・部旗・横幕・幟・小旗については、競技場最前列は全面禁止とする。競技運営などに支障がある場合は、撤去または移設を指示する場合がある。ガムテープでの固定は不可（養生テープは可）
  - (6) 応援旗・部旗・横幕・幟・小旗等は、毎日撤去して持ち帰ること。
  - (7) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
  - (8) 遺失物類についてはTICで管理する。
  - (9) 撮影禁止区域を設ける。場所についてはプログラムの規制区域図を参照のこと。
  - (10) 応急処置を必要とする事故が発生したときは、救護室で処置を受けることができる。
  - (11) スタンドの応援エリアは、コーチ席や撮影禁止区域、報道エリアなどテープで制限した範囲以外の席とする。ただし、競歩、ジュニア種目を除く、5000m以上の競技種目の応援については、第2コーナーから第4コーナーまでのバックストレッチ側6レーンから外側グラウンド内での応援を認める。その場合の応援者は、当該競技開始5分前より第4ゲートからグラウンド内に入ること。また、当該競技終了後は速やかに退場すること。その場合、ハイヒールなどグラウンドを傷つける可能性がある履物は禁ずる。
- (12) ゴミについては、分別してゴミ箱に投棄すること。**

(13) 棒高跳のポール返送は、競技終了後、配送業者に委託することができる。

**希望者は競技終了後、TICで配布する送付票に記入し、指定場所に持参すること。**

(14) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がありますのでご了承ください。

(15) 提出書類等については下記の通り行う。(各用紙はT I Cで配布する)

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	競技者係	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	競技者係	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	競技者係	第1組招集完了1時間前まで
4	用器具検査申請書	T I C	競技開始90分前まで
5	抗議申立て(口頭)	T I Cを経由し審判長へ	正式記録発表後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
6	上訴申立書(文書)	総務員(T I C・抗議)	審判長裁定後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
7	プログラム訂正届	競技者受付	9月22日は16時00分まで
			9月23日・24日は8時45分まで
8	競技者変更願い (補欠からの変更届け)	T I C	9月22日の12時00分まで

(16) 開門時刻及び閉門時刻は次のとおりとする。

期日	開門時刻		閉門時刻	
	ヤンマースタジアム 【メイン】	ヤンマーフィールド 【サブ】	ヤンマースタジアム 【メイン】	ヤンマーフィールド 【サブ】
9月21日(木)	12時00分	12時00分	18時00分	18時00分
9月22日(金)	10時00分	8時30分	21時30分	19時30分
9月23日(土)	8時00分	7時30分	21時00分	20時00分
9月24日(日)	8時00分	7時30分	20時00分	18時30分

## 練習会場に関する注意事項

- 1 練習会場および使用時間は、下記の通りとする。
  - 2 入退場時には、必ずIDカードを提示すること。
  - 3 投てき種目の予選の競技開始30分前から競技終了時間までに限り3コーナーから4コーナの芝生観客席およびバックスタンドでの応援を認める。
  - 4 練習は、競技役員の手配のもと、事故防止に十分配慮して行うこと。
  - 5 練習に使用する用具は、原則として各自持参すること。(スタブロー、ハードルは準備します)
  - 6 スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳・やり投げのスパイクについては、12mm以下とする。
  - 7 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。
    - ヤンマースタジアム長居：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは禁止する）
      - ・1～3レーン：中・長距離・競歩種目
      - ・4～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
      - ・8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
      - ・8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する（ホームストレートは除く）。
    - ヤンマーフィールド長居：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは禁止する）
      - ・1～3レーン：中・長距離・競歩種目
      - ・4～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
      - ・8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
      - ・8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する。（ホームストレートは除く）
- ※ 9/23(土)の小学生4×100mRウォーミングアップは、バックスタンド裏練習走路を利用
- 8 室内練習場のウォーミングアップは、半時計廻りの一方通行とする。

### ■練習会場の使用時間・日程

会場名	競技種目	9月21日(木)	9月22日(金)	9月23日(土)	9月24日(日)	
ヤンマースタジアム 【メイン】 9レーン	トラック種目	12:00～18:00	10:00～15:30	×	×	
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	12:00～18:00	10:00～15:30	×	×	
	棒高跳※1	×	10:00～15:30	女：13:00～	男：8:00～	
ヤンマーフィールド 【サブ】 9レーン	トラック種目	×	15:00～19:30	7:30～20:00 ※2 ※3	7:30～18:30	
	ハードル※2・走幅跳・三段跳・走高跳	×	15:00～18:00	8:00～20:00	8:00～16:00	
	砲丸投	予選練習 (予選時刻)	12:00～13:50	8:30～10:40	-	11:30～13:00 (男 12:00)
		決勝時刻			(女 14:00)	(男 14:00)
	やり投	予選練習 (予選時刻)	12:00～13:50	8:30～10:40	-	10:30～12:00 (男 11:00)
		決勝時刻			(女 11:00)	(男 15:00)
	円盤投※2	予選練習 (予選時刻)	14:00～15:50	10:50～12:50	12:30～14:00 (男 13:00)	-
		決勝時刻			(男 15:00)	(女 10:30)
	ハンマー投 ※2	予選練習 (予選時刻)	16:00～18:00	13:00～15:00	10:30～12:00 (男 11:00)	-
		決勝時刻			(男 13:00)	(女 13:00)
ヤンマースタジアム 【メイン】 室内練習場	トラック・ハードル・W-UP	12:00～18:00	10:00～19:00	8:00～20:00	8:00～16:00	

※1 男女の棒高跳は主競技場での練習に引き続き正式競技を開始する。

※2 ヤンマーフィールド長居【サブ】にて投てき種目の予選を実施する以下の時間帯は2コーナーから3コーナーでのトラック練習は禁止する。

9月23日(土) 10時30分～14時00分

※3 小学生4×100mRのウォーミングアップはヤンマーフィールド長居【サブ】バックスタンド裏練習走路を利用する。

注) ヤンマーフィールド長居【サブ】にてパラ種目男子車いす1500mのウォーミングアップを行う以下の時間はトラック1レーンから2レーンの使用を禁止する。

9月23日(土) 14時45分～15時15分